



元気な丹後

京都府丹後広域振興局

ニュース 第6号

〒627-8570 京丹後市峰山町丹波855 ☎0772-62-4300 FAX 0772-62-5894 ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/tango/>

京丹後市

「旦那がいること忘れてた」 「ここ君の場所」
「おいしいものがいっぱいあるって、一体どれ!？」

京丹後をイメージしたキャッチコピー作り練習で出てきた案です。美しい夕日、穏やかな久美浜湾を囲む小天橋と風情ある久美浜の街並み、湾の水面にゆらめく四季折々のかぶと山、豊富な食。「海の京都」京丹後の魅力は私たちの日常そのもの。そのどこを切り取って訪れた方におすす分けするか、皆で知恵をしぼってプラン作りに取り組んでいます。

(京丹後市実践会議)



実践会議メンバーとワークショップ参加の皆さん



ワークショップの様子

問 京丹後市商工観光部観光振興課
☎0772-69-0450 FAX0772-72-2030

伊根町



舟屋が建ち並ぶ伊根浦の中で鳥屋地区(東平田)を戦略拠点とした観光まちづくりの方針をまとめたマスタープランを策定し、活動を行っています。

テーマは「伊根浦のまちなか観光推進」。

現在、コミュニティサイクルの運行や宮津・伊根間を結ぶ観光船の検討、駐車場・トイレ等の導線整備や、観光モデルツアーの企画・実施などを行っています。

(伊根町実践推進会議)



向井酒造(株) 長慶寺健太郎さん 奥伊根温泉油屋 濱野茂樹さん 舟屋のお宿「鍵屋」 鍵 賢吾さん 橋本水産 橋本 弘さん 三野商会 三野成彦さん

問 伊根町観光協会 ☎0772-32-0277 FAX0772-32-0773

海の京都 戦略拠点 マスタープラン策定

京都縦貫自動車道が全線開通する平成27年度をターゲットイヤーに、地域の皆さん、市町、府が一丸となって私たちの暮らす地域をさらに魅力あるまちにしていきたいと思います。

与謝野町

まちのありたい姿を掲げるメンバー



ワークショップの様子



ちりめん街道イメージ絵

与謝野町では、まちの「ありたい姿」=『実現したい未来の姿』を実現するために、「ちりめん街道」と連携したまちづくり観光を始めます。

基本テーマは、「美心 与謝野」。美心をもたらし観光のまちをめざして、ちりめん産業で栄えた当時の雰囲気と機音で魅せる町並みづくり推進し、古民家を活用したコミュニティスペース・店舗等でゆったりとした長い時間の過ごし方の提案、着物やシルク、地域の産品も活用しながら訪れる人の気持ちを考えたおもてなしを行います。

(与謝野町実践者会議)

問 与謝野町商工観光課 ☎0772-46-3269 FAX0772-46-2851

宮津市

文珠地区イメージ絵



府中地区イメージ絵



モデルツアーの様子



ワークショップの様子

「海渡る参道 天橋立」を基本コンセプトに、聖地「天橋立」の品格と情緒を感じられる観光まちづくりを官民一体となって推進します。

道路や駅、天橋立公園施設などの整備に取り組むほか、統一した街並みの形成や空店舗対策、おもてなしベンチの設置や名物料理開発など訪れる方に満足していただける観光地を目指します。また、200円バスの運行や海上交通の充実など、エリア内の回遊性を高め、滞在型観光地への転換を図ります。

(天橋立地区協議会)

協議会メンバーの皆さん



文珠町づくり委員会 山崎弘巳さん 文珠町づくり委員会 幾世英磨さん 文珠町づくり委員会 幾世健史さん 府中「海の京都」推進協議会 井上悦幸さん 府中「海の京都」推進協議会 森 美忠さん

問 宮津市企画総務室企画係 ☎0772-45-1601 FAX0772-25-1691

「明日の京都」丹後地域振興計画

新丹後活動プラン

地域の皆さんと協働して「元気な丹後」づくりを進めていきます。平成26年度は皆さんのご意見を聴きながら改定を行います。(現行の計画期間は平成27年3月まで)



海の京都

「海の京都」構想実現に向けた各種事業

「海の京都」観光振興戦略拠点整備事業

●天橋立周辺の公園等整備 予算3億7,500万円
●歩行空間確保、修景舗装整備等
●加悦岩滝自転車道の線路(舗装)整備
市町が策定しているマスタープランに沿って、地区内の道路、河川、公園などの府施設などを各地区独自の歴史文化に根ざしたデザインで統一し、魅力向上を図ります。



天橋立公園の現況

☎ 丹後土木事務所道路計画室 ☎0772-22-7985 0772-22-3250

「海の京都」美観事業

●「海の京都」美観事業 予算5,400万円
民間の観光関連施設の外装整備などを支援し、「海の京都」戦略拠点を統一コンセプトに沿った魅力ある景観にしています。

☎ 商工労働観光室 ☎0772-62-4304 0772-62-4333

山陰海岸ジオパーク推進事業

26年度の世界ジオパーク再認定を目指し、ジオパークの地質資源の保全のため、学術交流を推進します。また、ジオツーリズムなどの観光の取り組みやプロモーションを強化していきます。



☎ 企画振興室 ☎0772-62-4300 0772-62-5894



【杜嶋棚・夜明けの詩】 【記念撮影】

「海の京都」周遊ネットワークの整備

●北近畿タンゴ鉄道リニューアル支援 予算1億449万円
KTRの魅力向上の取り組みを推進するとともに、快適・安全な運行を目指し、引き続き車両の空調設備や内外装をリニューアルしていきます。
●周遊バスの利便性向上(「海の京都」海陸周遊整備事業)
宮津から天橋立、伊根、経ヶ岬へと丹後半島を周遊する幹線路線バスの車両を、魅力的な内外装にするための支援を地元市町とともに進めます。
●観光海路の開設(「海の京都」海陸周遊整備事業)
宮津～伊根間における新たな観光海路の開設に向けて、民間の事業者が実施する遊覧船の改修を地元市町とともに支援します。



☎ 企画振興室 ☎0772-62-4300 0772-62-5894

産業振興による丹後地域の活性化

「丹後・食の王国」プロジェクト



丹後あじわいの郷を核に「丹後・食の王国構想」を推進

●丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業 予算1,380万円
首都圏での商談会や都市部での丹後産品販売フェアなどを通じて丹後の食を売り込むとともに、丹後あじわいの郷で「学生レストラン」を実施するなど、「丹後・食の王国」の取り組みを進めます。
●春の農林水産業祭開催事業 予算800万円
4月20日(日)丹後あじわいの郷で「京都えもん市」の一つとして「『食の王国』春のうまいもん祭り」を開催するなど、丹後の農林水産物等の販売を促進します。

☎ 農林商工部企画調整室 ☎0772-62-4315 0772-62-4333

「丹後・食の王国」を支える担い手づくりと農村の活性化

●農業経営実践型学舎づくり事業 予算8,043万円
「丹後農業実践型学舎」において、大規模営農技術や加工・流通・販売の総合的な実践研修を実施します。
●明日の「京都村」づくり事業 予算4,200万円
地域ぐるみで意欲的に農山漁村ビジネスや集落維持・発展活動に取り組む農山漁村集落を支援します。
●明日のむら人移住促進事業 予算5,025万円
移住者受入体制の強化や空き家の流動化対策を市町と連携して進め、都市部からの移住者受入を促進します。
●野生鳥獣被害総合対策事業 予算4億4,826万円
有害鳥獣捕獲や捕獲の担い手育成、地域ぐるみの防除対策などを実施し、野生鳥獣被害に強い地域づくりを進めます。

☎ 農林商工部企画調整室 ☎0772-62-4315 0772-62-4333

ものづくり産業等地域産業の振興

丹後織物ブランドビジネスモデル推進事業

●丹後織物ブランドビジネスモデル推進事業 予算500万円
新商品開発と販路開拓を支援し、丹後織物の新しいものづくりを全国に向けて発信します。昨年4月、在阪テレビ局で紹介された若手グループ「Tango+」など、若い担い手への支援も強化していきます。

☎ 織物・機械金属振興センター ☎0772-62-7402 0772-62-5240



「TANGO TEXTILE」が産地初の規模でPRした様子(10月阪急うめだ本店)

府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり

緊急輸送道路の安心整備

●生活・交通基盤整備事業 予算234億3,957万円
自然災害時に力を発揮する道路ネットワークづくりの一環として、幅の狭い区間をなくしていくため、国道178号(伊根町 蒲刈バイパス)、国道312号(京丹後市 野中バイパス、京丹後市 永留・橋爪工区)、国道482号(京丹後市 丹後弥栄道路)などの整備を進めています。

☎ 丹後土木事務所道路計画室 ☎0772-22-7985 0772-22-3250

共に育む「命の里」新展開事業

●共に育む「命の里」新展開事業 予算2億760万円
府職員が「里の仕事人」として担当地区と関わり、市町と連携して、里の人づくりや里の基礎づくりを進め、地域の再生と持続的発展を支援します。民間人材の「里の仕掛人」も地域で活躍中です。詳しくは4面をご覧ください。



宮津市養老地区ワークショップ

☎ 地域づくり推進室 ☎0772-62-4316 0772-62-4333

京都市地域包括ケア推進事業

●認知症プロジェクトの推進 予算1億8,761万円
認知症の早期発見や専門的な診断、初期認知症の方や家族の支援、居場所づくりなどを進め、認知症になっても本人の意志が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりを進めています。

●認知症疾患医療センター
3月1日、府立医科大学附属北部医療センターが、認知症疾患医療センターの指定を受けました。今後、認知症医療を支える拠点、地域連携ネットワークの拠点として、市町や関係機関と一体となって丹後地域の認知症の取り組みを進めていきます。

●認知症カフェ
初期の認知症の方や家族、地域の皆さんが集い、悩みを打ち明けたり交流したりする場所づくりを進めています。丹後地域には現在9箇所の初期対応型認知症カフェが設置されています。

☎ 丹後保健所企画調整室 ☎0772-62-0361 0772-62-4368

地域力再生プロジェクト交付金 第1次

暮らしやすく魅力的な地域を目指し、地域の皆さんが取り組む「地域力再生活動」を市町と連携しながら応援していきます。お気軽にお問い合わせください。
【募集期間】(第1次)4/1(火)～6/2(月)
(第2次)9/1(月)～9/30(火)
【補助率】府と市町村が協働で2/3 など
※さまざまな支援メニューがあります。
☎ 企画振興室 ☎0772-62-4300 0772-62-5894



「満丹健ちゃん」と目指す健康長寿の丹後!

地域で活躍中の健康満丹プロデューサーとともにいつでも元気な過ごせるためのプログラムを作成しています。楽しく取り組める健康満丹体操を広めるリーダーを募集し、健康な丹後にしていきます。
☎ 丹後保健所保健室 ☎0772-62-4312 0772-62-4368

健康満丹体操を広めるイメージキャラクターとして今春デビュー☆



満丹健ちゃん

TANTANロングライド

【日 時】平成26年6月8日(日) 6時～18時(予定)
【コース】Aコース(中丹・丹後地域一周) 190km 参加費 9,500円
Bコース(丹後地域一周) 100km 参加費 8,000円
【申 込】5月11日(日)までにホームページから申込
TANTANロングライド 募集
☎ 商工労働観光室 ☎0772-62-4304 0772-62-4333



募集中!

里の仕掛人

「里の仕掛人」は、過疎化、高齢化が進む地域の活性化を支援するため、住民の皆さんとともに活動しています。25年度、府内で7名の仕掛人が活動していますが、そのうち5名が丹後地域で活躍中の皆さんです。

文化の仕掛人

一方、文化力で地域を活性化するため、25年度から「文化の仕掛人」事業を新たに開始しました。丹後地域では、府と京丹後市が共同して1名を配置し、丹後文化会館を拠点に活躍中です。

やま がた あゆみ
山形 歩さん ●宮津市 世屋地区



やわらかいけど、スツと通った芯がある。そんな雰囲気人が惹きつける。雪深い世屋に寝袋一つで来てから3年。世屋5地区のうちの一つが紙すきの盛んな村だったことから、継承プロジェクト「いとをかし」を立ち上げた。任期終了目前の今、今後のことを尋ねると「変わらずです」と笑顔で返事が戻ってきた。「世屋で生きていく」という強い思いが伝わってくる。



大切なひとに贈りたくなる、紙すきのミニカード

たむら きみこ
田村貴美子さん ●京丹後市 野間地区



24年4月から活動し、「きみちゃん」と呼ばれ、すっかり頼られる存在に。「地元の方の理解をいただきながら活動するのは難しさもありますが、気遣いが大切だと感じています」と、これまで2年の経験を振り返る。野間地区では、間もなく同志社大学のゼミナールハウスが新設され、仕掛人としての仕事もますます増えそうだ。



加工グループとともに作った「ガラシャこんにやく」と「ガラシャ漬」

まの ゆり
眞野友里さん ●伊根町 朝妻地区



昨年11月に、大阪から移住した眞野さん。在住わずか4か月足らずながらも、住民の皆さんとすっかり打ち解けている様子なのは、その明るい性格ゆえんだらう。地元住民とともに開発し、2月に「舟屋の里」で開催された「大漁まつり」で販売したクッキーや無農薬みかんのジャムは大好評。朝妻地区のPRや移住促進活動など、今後の活躍が楽しみだ。



素材にこだわった「唐辛子チーズクッキー」と「夏みかんマーマレード」など。コピーライター経験からキャッチコピーにも一工夫。

すぎ はら ち あき
杉原千明さん ●与謝野町 滝・金屋地区

与謝野町で新規就農したご主人とともに移住して3年。リフレかやの里に隣接する「森の直売所」のオープン準備にあたっては、運営のノウハウがなく、「ドキドキ」だったと話す。みんなが来たいと思えるアットホームな直売所を目指す杉原さんのご家族は、まさにそれを体現した温かく、明るい空気に包まれていた。



「ちりめん街道」内の自宅にお2人の息子さんと家族4人で暮らす

かわ ぐち れい こ
川口礼子さん ●京丹後市 大宮南地区



昨年4月に就任した川口さん。もともと大宮南地区に暮らしていたため、地域になじむのに時間はかからなかったと話す。新聞バックの講習会、こんにやく作り、花いっぱい運動など、活動はさまざま。「まだ広く知られていないような地域の小さな活動を発掘したい。」「お年寄りや若い人の世代間交流が求められていると感じている。」と、新たな活動への意欲を見せる。



手づくりの新聞バック。講習会では「礼子さん」と呼ばれている。

まる やま かつら
丸山桂さん(アートコーディネーター) ●丹後文化会館



「アイデアと人が出会う場」として、これまでに4回開催したジャムセッションは、4月以降も少し形を変えて続きます!

ふざけたり、怒られたりするのが得意

「なぜか丹後を放っておけない、離れられない」と話し、地域のことを一緒に考え、インスピレーションを与えてくれる丸山さんの周りには、いつもたくさんの方が集まる。芸術への、面白いことへの、そして「人」への優れた感性で、活動の幅と人脈をどんどん広げている。あえて苦手なことを聞いてみると「空気を読むこと」なのだとか。

お知らせ

丹後農業基礎講座受講生募集中

農業の初心者の方や、出荷販売に取り組もうと考えている方を対象として、4月～11月の第3水曜日の午後に、水稲や野菜の栽培、病害虫の防除などについて解説します。

問 丹後農業改良普及センター ☎0772-62-4308 FAX0772-62-5894

丹後あじわい食のホームページで丹後に観光客を!

生産量は少なくとも旬を大切にした質の良い「丹後あじわい食」と地酒の「マリッジ」。丹後人の心に根付いた名物「丹後ばらずし」など、丹後の食の魅力ホームページで発信しています。

丹後あじわい食 検索

問 地域づくり推進室 ☎0772-62-4316 FAX0772-62-4333

もらって嬉し、見て楽し —引札 明治の広告—

引札とは、明治時代に盛んに印刷された商店の広告です。鮮やかな多色刷りが特徴です。大黒さんやえびさんなどのおめでたい図柄も見られます。宮津市街地の引札を中心にずらりとご紹介します。



問 丹後郷土資料館 ☎0772-27-0230 FAX0772-27-0020

久住バイパス完成(京丹後市大宮町)

3月14日に開通式を行い、供用を開始しました。主要地方道網野岩滝線は京丹後市網野町と与謝野町岩滝を結ぶ府道ですが、久住地内では道路が狭く、カーブが続くことから交通の安全と円滑化を図るため平成14年からバイパス事業に取り組みました。



問 丹後土木事務所道路計画室 ☎0772-22-7985 FAX0772-22-3250

北京都ジョブパーク リニューアルオープン 4月21日開

京都ジョブパーク北部サテライトが、福知山駅前に新設される「市民交流プラザふくちやま」内にリニューアルオープン。女性向け再就職支援機能の強化や障害者就労相談窓口の新設、ハローワーク機能の充実などワンストップ機能をさらに強化します。お気軽にご利用ください。

問 京都ジョブパーク北部サテライト ☎0773-22-3815 FAX0773-22-3816

丹後NPOパートナーシップセンター 振興局峰山庁舎に移転・ホームページもリニューアル

同センターは府立丹後勤労者福祉会館内に設置し、NPO活動を行う皆さんへの支援を行っていますが、4月から峰山庁舎内に窓口を一元化します。ホームページも大幅リニューアル。丹後のNPO活動状況やイベントスケジュールは 検索

問 企画振興室 ☎0772-62-4300 FAX0772-62-5894

阿蘇海フェア開催

高校生らによる活動発表のほか、天橋立アサリの試食など、環境と食のイベントを行います。

【日時】5月11日(日)13時30分～

【場所】与謝野町立生涯学習センター知遊館

問 企画振興室 ☎0772-62-4300 FAX0772-62-5894

クイズ

【問題】○に当てはまる文字をお答えください。

若い力とともに地域活性化に取り組む振興局のプロジェクト(ヒント:3画)

「TOMORROW○○」

はがきにクイズの答えと郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入し、

〒627-8570(住所不要) 丹後広域振興局 企画振興室クイズ係へ。

「元気な丹後ニュース」へのご意見・ご感想もお書き添えください。締め切りは4月15日(火)必着。正解者の中から抽選で15人の方に「いとをかし(里の仕掛人 山形さん参照)の紙すきミニカード2点セット」をプレゼント。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。※発送商品の色や柄は、写真とは異なります。

4月6日(日)は、京都府知事選挙の投票日です。皆さん必ず投票しましょう!